

発明の名称	酒の識別方法		
実用化が見込まれる分野や企業	飲料メーカー, 卸売業, 食品分析会社など		
出願番号	特願 2020-094046	出願日	令和3年5月29日
公開番号	特開 2021-189021	出願人	公立大学法人秋田県立大学
技術内容	<p>液体クロマトグラフ安定同位体比質量分析計 (LC/IRMS) を用いて, 日本酒中のグルコース, エタノールの炭素安定同位体比を用いて, 純米酒, 吟醸酒 (普通酒) の新たな識別技術である。</p> <p>従来技術に対する優位性は, 分析技術としては, 成分ごとの同位体分析が可能, サンプル量が少ない (10μL 程度), 時間が短い (前処理が数分, 分析時間が 20 分程度) ことが挙げられる。</p>		
発明の効果	<p>純米酒, 吟醸酒 (普通酒) の明確な識別は, 食の安全安心につながることや, 偽装防止に役立つと考えられる。また, 飲料メーカーにとっても, 簡単に酒の種類を保証することが可能になるなどの効果がある。</p>		
従来技術・競合技術の概要	<p>従来, 日本酒中の炭素安定同位体比の分析は, 日本酒に含まれるすべての炭素化合物のバルク分析のみが実施されており, 分析のための前処理時間は数時間以上かかることや分析のために必要な量も多く, 課題が多かった。</p>		

【お問合せ先】

秋田県立大学 地域連携・研究推進センター

<http://www.akita-pu.ac.jp/stic/index.html>

秋田キャンパス 〒010-0195 秋田市下新城野字街道端西 241 番地 438

TEL : 018-872-1557 FAX : 018-872-1673

E-mail : stic@akita-pu.ac.jp

本荘キャンパス 〒015-0055 由利本荘市土谷字海老ノ口 84 番地 4

TEL : 0184-27-2947 FAX : 0184-27-2194